

RA2E3 グループ

RA2E1 から RA2E3 への移行ガイド ハードウェア編

要旨

本アプリケーションノートは、RA2E1 グループから RA2E3 グループへの置き換えを行う場合の注意点、並びに相違点などを説明しています。なお、各機能の詳細な情報や電気的特性については最新のユーザーズマニュアル ハードウェア編を参照してください。

対象デバイス

RA2E1 グループ、RA2E3 グループ

目次

1. RA2E1 グループと RA2E3 グループの相違点	2
2. レジスタ構成	3
3. ピンアサイン	3
4. 注意事項	5
5. 参照	5
改訂記録	7

1. RA2E1 グループと RA2E3 グループの相違点

RA2E1 グループと RA2E3 グループの機能比較を表 1.1 に示します。

表 1.1 RA2E1/RA2E3 搭載機能比較

機能名	RA2E1	RA2E3
CPU	Arm Cortex-M23@48MHz	
起動モード	○	
アドレス空間	○	
リセット	○	
オプション設定メモリ	○	
低電圧検出回路 (LVD)	○	
クロック発生回路	○	
クロック周波数精度測定回路 (CAC)	○	
低消費電力モード	○	
レジスタライトプロテクション	○	
割り込みコントローラユニット (ICU)	○	
バス	○	
メモリプロテクションユニット (MPU)	○	
データトランスファコントローラ (DTC)	○	
イベントリンクコントローラ (ELC)	○	
I/O ポート	○	
キー割り込み機能 (KINT)	○	
GPT 用のポートアウトプットイネーブル (POEG)	○	
汎用 PWM タイマ (GPT)	○	
低消費電力非同期汎用タイマ (AGT)	○	
リアルタイムクロック (RTC)	○	
ウォッチドッグタイマ (WDT)	○	
独立ウォッチドッグタイマ (IWDT)	○	
シリアルコミュニケーションインタフェース (SCI)	○	
I2C バスインタフェース (IIC)	○	
シリアルペリフェラルインタフェース (SPI)	○	
巡回冗長検査 (CRC)	○	
12 ビット A/D コンバータ (ADC12)	○	
温度センサ回路 (TSN)	○	
低消費電力アナログコンパレータ (ACMPLP)	○	-

機能名	RA2E1	RA2E3
静電容量式センシングユニット (CTS2)	○	—
データ演算回路 (DOC)	○	
SRAM (KB)	16	
コードフラッシュメモリ (KB)	128/64/32	64/32
データフラッシュメモリ (KB)	4	2
AES エンジン	○	—
真性乱数生成器 (TRNG)	○	—
内部電圧レギュレータ	○	
パッケージ	LQFP64/48/32	LQFP48/32
	BGA64	—
	HWQFN48/32	
	LGA36	—
	WLCSP25	—

凡例：○：同一機能あり、 ：仕様変更、 ：機能なし、未サポート

2. レジスタ構成

RA2E1 グループ内蔵の ACMPPLP、CTS2、AES、TRNG は RA2E3 グループに存在しないため、レジスタも存在しません。それ以外の周辺機能は全て同一なため、RA2E1 グループと RA2E3 グループは高い継承性を有しています。詳細は各グループのユーザーズマニュアル ハードウェア編を参照してください。

3. ピンアサイン

以下に RA2E1 グループと RA2E3 グループのピンアサインの比較を示します。ピンアサインの仕様差は ACMPPLP と CTS2 が RA2E3 グループに存在しないため、これら周辺機能のピンがアサインされていません。

よって、以下では、ACMPPLP と CTS2 のピンアサインだけを比較します。

その他のピンアサインは同一なため、RA2E1 グループと RA2E3 グループは高いピンコンパチビリティを有しています。

表 3.1 RA2E1 と RA2E3 のピンアサイン比較 (ACMPLP, CTSU2 のみ)

LQFP/QFN 48 ピン	LQFP/QFN 32 ピン	I/O ポート	RA2E1		RA2E3	
			ACMPLP	CTSU	ACMPLP	CTSU
1	–	P400	–	–	–	–
2	–	P401	–	–	–	–
3	1	–	–	–	–	–
4	2	P215	–	–	–	–
5	3	P214	–	–	–	–
6	4	–	–	–	–	–
7	5	P213	–	–	–	–
8	6	P212	–	–	–	–
9	7	–	–	–	–	–
10	–	P409	–	TS5	–	–
11	–	P408	–	TS4	–	–
12	8	P407	–	–	–	–
13	–	P915	–	–	–	–
14	9	P914	–	–	–	–
15	10	P913	–	–	–	–
16	11	P208	–	–	–	–
17	12	P207	–	–	–	–
18	–	P206	–	–	–	–
19	13	–	–	–	–	–
20	14	P201	–	–	–	–
21	15	P200	–	–	–	–
22	–	P302	–	TS8-CFC	–	–
23	–	P301	–	TS9-CFC	–	–
24	16	P300	–	–	–	–
25	17	P108	–	–	–	–
26	18	P109	–	TS10-CFC	–	–
27	19	P110	VCOUT	TS11-CFC	–	–
28	–	P111	–	TS12-CFC	–	–
29	20	P112	–	TSCAP	–	–
30	–	–	–	–	–	–
31	–	–	–	–	–	–
32	–	P104	–	TS13-CFC	–	–
33	21	P103	CMPPREF1	TS14-CFC	–	–

LQFP/QFN 48 ピン	LQFP/QFN 32 ピン	I/O ポート	RA2E1		RA2E3	
			ACMPLP	CTSUS	ACMPLP	CTSUS
34	22	P102	CMPIN1	TS15-CFC	—	—
35	23	P101	CMPREF0	TS16-CFC	—	—
36	24	P100	CMPIN0	TS26-CFC	—	—
37	—	P500	—	—	—	—
38	25	P015	—	TS28-CFC	—	—
39	26	P014	—	—	—	—
40	27	P013	—	TS33-CFC	—	—
41	28	P012	—	TS32-CFC	—	—
42	29	—	—	—	—	—
43	30	—	—	—	—	—
44	31	P011	—	TS31-CFC	—	—
45	32	P010	—	TS30-CFC	—	—
46	—	P002	—	TS23	—	—
47	—	P001	—	TS22	—	—
48	—	P000	—	TS21	—	—

凡例：信号名有り：その信号がアサインされている —：信号がアサインされていない

4. 注意事項

表 1.1 に示す通り、RA2E1 グループ搭載の一部機能（ACMPLP, CTSU2）が RA2E3 グループでは削除されていますので、これらの機能は RA2E3 グループでは使用できません。

5. 参照資料

この相違点ガイドの作成には、以下の文書が使用されました。各文書の最新バージョンについては、弊社ウェブサイト (www.renesas.com) をご覧ください。

項番	文書番号	概要
1	R01UH0852	ルネサス RA2E1 グループ、ユーザーズマニュアル ハードウェア編
2	R01UH0992	ルネサス RA2E3 グループ、ユーザーズマニュアル ハードウェア編

ウェブサイトとサポート

RA ファミリマイクロコントローラの詳細、ツールやドキュメントのダウンロード、サポートについては、以下の URL をご参照ください。

RA 製品情報	www.renesas.com/ra
RA 製品サポートフォーラム	www.renesas.com/ra/forum
RA フレキシブルソフトウェア パッケージ	www.renesas.com/FSP
ルネサスのサポート	www.renesas.com/support

改訂記録

改訂版	日付	概要	
		ページ	要約
1.00	Nov. 27. 23	—	初版リリース
		—	

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合、お客様の責任において、お客様の機器・システムを設計ください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含みます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
 2. 当社製品または本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
 3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
 4. 当社製品を組み込んだ製品の輸出入、製造、販売、利用、配布その他の行為を行うにあたり、第三者保有の技術の利用に関するライセンスが必要となる場合、当該ライセンス取得の判断および取得はお客様の責任において行ってください。
 5. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
 6. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通管制（信号）、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等
当社製品は、データシート等により高信頼性、**Harsh environment** 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。
 7. あらゆる半導体製品は、外部攻撃からの安全性を **100%**保証されているわけではありません。当社ハードウェア／ソフトウェア製品にはセキュリティ対策が組み込まれているものもありますが、これによって、当社は、セキュリティ脆弱性または侵害（当社製品または当社製品が使用されているシステムに対する不正アクセス・不正使用を含みますが、これに限りません。）から生じる責任を負うものではありません。当社は、当社製品または当社製品が使用されたあらゆるシステムが、不正な改変、攻撃、ウイルス、干渉、ハッキング、データの破壊または窃盗その他の不正な侵入行為（「脆弱性問題」といいます。）によって影響を受けないことを保証しません。当社は、脆弱性問題に起因しまたはこれに関連して生じた損害について、一切責任を負いません。また、法令において認められる限りにおいて、本資料および当社ハードウェア／ソフトウェア製品について、商品性および特定目的との合致に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことの保証を含め、明示または黙示のいかなる保証も行いません。
 8. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
 9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、**Harsh environment** 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
 10. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する **RoHS** 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
 11. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
 12. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものとしたします。
 13. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
 14. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。
- 注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。
- 注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.5.0-1 2020.10)

本社 Corporate Headquarters

豊洲フォレシア、豊洲 3-2-24、
135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア TOYOSU FORESIA,
www.renesas.com

商標 Trademarks

Renesas および Renesas ロゴは、ルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

お問い合わせ先 Contact information

製品、技術、ドキュメントの最新版、最寄りの営業所などに関する詳しい情報は、こちらをご覧ください www.renesas.com/contact/.